

輝け！シン尾花沢中

第199号

令和8年

3月9日

けだかく晴れた 月の峰 雲間にそそる 鳥海も

掃除を通して、美しくなっていく心

3月3日（火）～5日（木）、卒業式に向けてお世話になった校舎をきれいにする大掃除が行われました。通常は15分のところを20分かけて、隅々まで念入りに掃除しました。



整美委員長の岩本悠冬^{ゆうと}さんは、「日頃使っている校舎に感謝の気持ちを持つことが一番大事です。今年度ももう少しで終わりですが、使う前よりも美しくする気持ちで掃除に臨んでほしいです」とコメントしてくれました。



放送で呼びかける悠冬さん

大掃除ではありませんが、掃除に関連してうれしかったことを報告します。

朝の校舎西側の階段は、ほこりがたまりやすくなっています。先日、私が掃除をしている姿を見て、梶川翔汰^{しょうた}さん（3年）と豊島蒼天^{そうら}さん（3年）が、クイックルワイパーで手伝ってくれました。「ありがとう」と感謝の意を示すと「自分たちの仕事なので…」と謙遜して黙々と掃除してくれました。

また、6日（金）のワックスがけでは、担当の整美委員だけでなく、ボランティアで手伝ってくれた生徒がたくさんいたそうです。



手伝ってくれた2人

まさに、掃除で磨かれた美しい心が随所に表れています。気持ちよく卒業式を迎えることができそうです。

【文責：校長 工藤雅史】